

2025ミャンマー地震

TMAT 災害医療活動報告

2025年4月15日 10:00

第1報

3月28日

日本時間午後15時20分頃（現地時間午後0時50分頃）にミャンマー中部を震源にM7.7（深さ10km）の地震が発生。

震源地はミャンマー第2の都市マンダレーに近いことから、今後被害が拡大することが予想されるため、先遣隊派遣を視野に情報収集を開始。

現地の情勢、入国や医療支援活動に必要とするビザ発給の問題により派遣調整が難航していたが、

- ① TMATが現地で医療支援活動を行ううえでのビザ発給許可がでたこと
- ② ミャンマー政府に登録されている国際NGOのBarefoot Doctors Myanmar（以下BFDM）の協力が得られ、TMATが医療活動を行う現地と当局の許可が得られたこと
- ③ BFDMのもとで4月初旬より活動している、日本のNGOであるPeace Winds Japan(災害医療チーム)との連携・活動の引継ぎ調整がついたこと

以上のこと理由から、医療チームの派遣を行うことを決定。

尚、TMATも現地での活動の際はBFDMのもとで活動していくこととなる。

4月14日

21:00 災害医療支援チーム派遣決定。メンバーは以下2名。

坂元 孝光 医師（福岡徳洲会病院）

合田 祥悟 医師（札幌東徳洲会病院）

※現在、追加3名の入国ビザ申請中であり、許可が下り次第追加派遣の予定



左から合田医師、坂元医師

メンバーは羽田国際空港に集合し、出発前のブリーフィングを実施。4月15日0:20羽田発のTG661にて経由地バンコクへ向けて出発。

4月15日（以下現地時刻）

5:00頃

タイ バンコクへ到着。

10:00過ぎ

ミャンマー ヤンゴンへ到着。現地パートナーであるBFDM関係者と合流。

17:00頃

WHO-EMTCC（緊急医療支援チームを統括する調整本部）担当者とミーティングを行い、現在の状況や医療支援ニーズについて情報収集を実施

本日は空港近くの宿舎に滞在し、明日今回のTMATの活動拠点であるマンダレーへ国内線にて移動する予定。



事務局と出発前ブリーフィングを実施



EMTCC担当者とミーティング

なお、今回のミャンマー地震に対するTMAT災害医療支援活動のクラウドファンディングを開始しています。ご支援ご協力をお願いいたします。

TMAT ミャンマー地震クラウドファンディング

<https://congrant.com/project/npotmat/16860>



事務局担当

野口 幸洋（NPO 法人 TMAT / 一般社団法人徳洲会東京本部）

阪木 志帆（NPO 法人 TMAT / 一般社団法人徳洲会東京本部）

文責 事務局 野口 幸洋